

Focus in 南島原 まちの話題



海の祭典に来場者魅了

7月26、27日の両日、口之津港緑地公園一帯でマリンスフェスタinくちのつが開催。

26日は、子どもたちのメッセージを付けた約600個のバルーンリリースや口之津瀬詰太鼓の演奏などが行われました。大空に放たれたバルーンの一つは、およそ150キロメートルも離れた大分市まで届いたとのメッセージが寄せられたそうです。

27日は、島原半島ペーロン大会に市内外から多くのチームが参加し、会場は熱気に包まれました。そして、フィナーレを飾るのは恒例の花火大会。口之津の夜空いっぱい到大輪の花を咲かせ、お客さんを魅了しました。

恒久平和を祈って



69年前の1945年8月9日午前11時2分、長崎に投下された原子爆弾で多くの尊い命が奪われました。

11時2分のサイレン吹鳴にあわせ、県内を始め、日本中で犠牲になったかたがたに黙とうがささげられました。

南島原市内においても、各地で追悼行事が行われ、祈りの気持ちに包まれました。加津佐町の野田小学校では、被爆樹木苗木植樹式が開催。

この苗木は、長崎のクスノキと広島のアオギリで、広島市長が会長を務める平和首長会議から配布されました。長崎の被爆樹木クスノキは、爆心地から800メートルの距離で被爆したものの、焼け焦げた幹から再び芽吹いたものです。児童たちは、この苗木を大切に植樹し、戦争がない平和な世界を祈りました。



『親子で勝ち取った銀メダル』
まちの話題(2~4)



『国立公園「雲仙」指定80周年&島原半島世界ジオパーク認定5周年記念事業』
島原半島世界ジオパーク(5)



『住み続けたいまち・住んでみたいまちへ』
新市長インタビュー(6~7)

CONTENTS

まちの話題	2~4
島原半島世界ジオパーク	5
新市長インタビュー	6~7
南島原にゅーす	8~14
復興への絆・健康コラム	15
くらしの情報	16~19
南島原市図書館だより	20
国際交流員・消費生活センター	21
保健事業のご案内	22~23
市民カレンダー	24



吉岡亜湖さんが最優秀賞

7月23日、ありえコレジヨホールで、第64回社会を明るくする運動南島原市中学生弁論大会が行われました。大会には、市内の各中学校の代表16人が参加。最優秀賞には「居場所」と題して発表した吉岡亜湖さんが選ばれました。吉岡さんは、同月30日に行われた県大会に出場し、見事入賞しました。

受賞した皆さん、おめでとうございます。

結果は次のとおりです。【敬称略】

●最優秀賞

吉岡 亜湖（布津中学校3年）

●優秀賞

深町 琉里（口之津中学校3年）

井口慎太郎（南有馬中学校3年）

井上 真由（南有馬中学校3年）

いつまでもお元気で

～100歳おめでとうございます～



荒木 ナツさん(有家町)
大正3年8月11日生まれ



愛が詰まったプレゼント

7月18日、女性の立場から、犯罪をした人や非行をした少年の立ち直りを助け、犯罪・非行のない明るい社会をつくろうと活動している島原更生保護女性会が深江中学校にグラウンド整備用のモップと整地板を寄贈しました。

島原更生保護女性会では、物品の頒布活動で得た収益金の中から10万円を「愛の基金」として設け、毎年、島原半島3市の小中学校や公共施設などに物品の寄贈をしています。

今回の寄贈について伊東会長は、地域への恩返しと子どもたちに健全な生活を送って欲しいという思いからこのような活動を行っています。これからも行っていきたいですと話しました。



万が一に備えて海難救助訓練を実施

7月21日の「海の日」に深江ブループロジェクト活動組織主催による海難救助訓練を実施しました。

消防署の指導の下、深江消防団の第5分団や深江漁協組合員ら約70人が参加し、AED講習や漁船から心肺停止した船員を救助する訓練など実施しました。最後に、救命胴着の種類の紹介やペットボトルを活用した簡易浮き輪の実演を行い、海難事故時の対応手順を学びました。